

総務省承認 No. 2-3-172
承認期間 平成15年5月31日まで

調査コード

調査員氏名

ホームレスの実態に関する全国調査票（生活実態調査票）（案）

性別	年齢	生まれた年	調査場所
男・女	歳	M・T・S 年	

I 路上での生活について

路上での生活についてお聞きします。

問1 現在の寝（野宿）場所はどこですか。

- | | | |
|-------------------------------|---|---|
| 1. 一定の場所で決まっている
2. 決まっていない | → | (具体的に：
1. 公園
2. 道路
3. 河川敷
4. 駅舎
5. その他〔 〕 |
|-------------------------------|---|---|

~~(問2の「99」に○をつけ、問3へお進み下さい)~~

~~問2 今の場所を寝（野宿）場所とするようになってどのくらいたちますか。~~

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 1ヶ月未満 | 2. 1ヶ月以上3ヶ月未満 |
| 3. 3ヶ月以上6ヶ月未満 | 4. 6ヶ月以上1年未満 |
| 5. 1年以上3年未満 | 6. 3年以上5年未満 |
| 7. 5年以上 | |
| 99. 非該当 | |

○古屋委員：問の復活

野宿期間に関する設問が3問となり、混同される可能性があるなど、技術的な問題はあるが、野宿生活の実態をより正確に把握するためには必要である。

○森田委員：大阪では、テント・小屋がけによる「長期固定層」あるいは「定着層」への対応策が、今後の1つの課題となっている。また、自立支援法に基づく施策の「効果」が長期固定層とそうではない層とではかなり異なっているようである。

「長期固定層」は、テント、小屋という形態ではあるが固定的な住居を構え、廃品回収等で少額とはいえ収入を確保している層であり、行政の「自立センター入所」への説得にも応じない層でもある。このような野宿者にとっては、現

在の「自立センター入所→脱野宿」という支援の枠組みは、かなりリスクフルで、魅力に乏しいものと映っているのではないかと考えられる。

「長期固定層」あるいは「定着層」の実態を知り、対応を考えるため、「現在の野宿場所」での野宿期間を聞く「旧問2」のような質問は、ぜひ必要であると考えられる。

問3-2 どのようにして寝（野宿）場所を作っていますか。

1. 廃材やダンボール、ブルーシートによるテント又は小屋を常設
2. ダンボール等を利用して寝場所をつくっている
3. 簡単に敷物（寝袋・毛布等）を敷いて寝ている
4. 寝場所は特につくらない
5. その他 []

○古屋委員：選択肢の修正

1. 廃材やダンボール、ブルーシートによるテント又は小屋を常設（廃車利用を含む）。

~~問4 食事は1日どのくらい摂れていますか。最近一週間の状況で教えてください~~

- ~~1. 1日1回~~
- ~~2. 1日2回~~
- ~~3. 1日3回~~
- ~~4. その他 []~~

○阿部委員：この質問は、ホームレスの方々の経済的・身体的観点を踏まえた総合的な状況をみる指標として用いることができ、前回の調査に比べ、今回の調査においてホームレスの方々の総合的な状況が変化しているかどうかをみるためにも、是非、加えて欲しい。

○古屋委員：設問内容を変更し復活してほしい。

「食事はどのように調達していますか。最も多いものを一つだけ選んでください。」

1. 弁当などを買う・自炊
2. もらう
3. 炊き出し
4. 残飯等
5. その他

(理由) 食事の調達方法にホームレスの生活状態が反映されることが考えられるので。

問5-3 初めて路上（野宿）生活をしたのは、どのくらい前ですか。

1. 5年未満
2. 5年以上10年未満
3. 10年以上15年未満
4. 15年以上20年未満
5. 20年以上

○安江委員：問の補足

「初めて路上（野宿）生活をしたのは、または野宿生活をしがちになったのはどのくらい前ですか。」

○大橋委員：具体的な期間の数値を直接に訊ねることには何か問題があるのでしょうか。期間幅がバラバラだと、後の解釈や分析が難しくなります。できれば、具体的な数値を訊ねたいのですが。

○古屋委員：選択肢の修正

1. 半年未満
2. 半年以上1年未満
3. 1年以上2年未満
4. 2年以上3年未満
5. 3年以上4年未満
6. 4年以上5年未満
7. 5年以上10年未満
8. 10年以上

(理由) 前回の調査では5年未満が62.7%を占めており、期間を短くした選択肢を設定することによって、より現状を明らかにすることができると思われる。

○山口委員：選択肢を追加

「1年未満」

(理由) 最近、ホームレスになった人を補足する必要がある。5年未満だと、最近の傾向が分からない。

○安江委員：選択肢の修正

1. 1ヶ月未満
2. 1ヶ月以上6ヶ月未満
3. 6ヶ月以上1年未満
4. 1年以上4年未満
5. 4年以上10年未満
6. 10年以上

問-4 今回の路上（野宿）生活をするようになって（または路上（野宿）生活の方が多くなってから）、どのくらいたちますか？（昔のことは除く）

- | | |
|-----------------------|---------------------------------|
| 1. 1ヶ月未満 | 2. 1ヶ月以上3ヶ月未満 |
| 3. 3ヶ月以上6ヶ月未満 | 4. 6ヶ月以上1年未満 |
| 5. 1年以上3年未満 | 6. 3年以上5年未満 3年以上4年未満 |
| 7. 4年以上5年未満 | 7 8. 5年以上10年未満 |
| 8 9. 10年以上 | |

○阿部委員：前回の調査では、回答者の25%が「1年以上3年未満」である。地域によって異なるが、前回の調査から現在までの間にとられた施策の後にホームレスになったのか、それ以前からホームレスなのかの判定をするためにも、この選択肢をさらに1年単位に分けてはどうか。

○岩田座長：細かすぎるので以前と同様でよい。

○大橋委員：具体的な期間の数値を直接に訊ねることには何か問題があるのでしょうか。期間幅がバラバラだと、後の解釈や分析が難しくなります。できれば、具体的な数値を訊ねたい。

○山口委員：選択肢を追加

「路上生活歴1週間以内」

(理由) 最近、ホームレスになった人を補足する必要がある。1ヶ月未満よりほとんど路上生活歴なしの傾向が分からない。

○安江委員：問を削除（問3と統合）

問75 その間、ずっと路上（野宿）生活が続いていましたか。または、どこか
と行き来していましたか。1つ選んでください。

1. ずっと路上（野宿）生活をしていた
2. 時々、ドヤ、飯場、ホテル等にも泊まっていた
3. 病院や施設に一時的に入っていたことがある
4. その他 []

○阿部委員：選択肢の追加

「病院に入っていたことがある」

「自立支援センターに入っていたことがある」

「生活保護」

(理由) 選択肢を詳しくすることにより、問4の「今回の路上」のあいまいさがある
程度解消できる。

○山田委員：選択肢の追加

「緊急一時避難所などを利用している」

○山口委員：選択肢の追加

「生活保護施設(更生施設)」

「路上生活者対策施設(緊急・自立支援センター)」

「その他(宿泊所)」

(理由) 宿泊所や緊急・自立支援センター等福祉施策の路上生活者対策施設を明記す
べき。

問86 現在収入のある仕事をしていますか。

1. している
2. していない

(具体的に：)

1. 建設日雇
2. 廃品回収
〔アルミ缶・ダンボール・
粗大ゴミ・本集め〕
3. 運輸日雇
4. その他雑業
〔~~サンドイッチマン看板持ち~~
・チケットならび・雑誌
の販売など〕
5. その他 []

(問9の「99」に「○」をつけ、問108へ
お進み下さい)

○山田委員：「就労支援事業」を追加

○古屋委員：「行政が実施する就労対策事業への従事」を
追加

○安江委員：「3. 運輸日雇」はいわゆる「日通のアルバイト」等を指すと思われるので、そのような表現
を。または、「派遣・アルバイト」という、職
種ではない項目を入れる。

「雑誌の販売」を「本集め」とする。

↓
問 ~~9~~7 仕事による収入は月額どれくらいですか。(ここ3ヶ月くらいの平均)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 01. 1千円未満 | 02. 1千円以上5千円未 |
| 03. 5千円以上1万円未満 | 04. 1万円以上3万円未満 |
| 05. 3万円以上5万円未満 | 06. 5万円以上10万円未満 |
| 07. 10万円以上15万円未満 | 08. 15万円以上20万円未満 |
| 09. 20万円以上 | |
| 10. その他 [] | |
| 09. 非該当 | |

○阿部委員：「問9」と同じく、カテゴリー値ではなく記述式として欲しい。少なくとも、1000円未満とゼロは、区別して欲しい。総収入などの計算をする時に、問7と問9を足すことが難しくなるため。記述式でも、あいまいさ(たとえば千・万単位になるとか)は残るが、それは分析時点で処理できる。

○大橋委員：万円単位で具体的な数値を訊ねたい。

問7の後で、働いた時間も聞く必要があるのではないのでしょうか。たとえば、“平均すると週に何時間働いたことになりますか。”これは、日頃の時間のすごし方を知る手がかりの一つにもなると思います。

→問 ~~10~~8 ここ3ヶ月間で、仕事以外の収入がありますか。

- | |
|---|
| 1. ある (収入の内容) |
| 2. ない → (次のページの問 12 10へお進み下さい) |

○阿部委員：収入源が聞ければ、聞いて欲しい。具体的に、どのような収入源があるかイメージしにくい(年金、家族からの仕送り、友人から支援、等)。

○安江委員：(収入の内容) を選択肢にする。

「年金」「身内からこづかいをもらっている」「友人に融通してもらう」「世話になっている人がいる」

問 ~~11~~9 その収入はここ3ヶ月平均してひと月いくらぐらいになりますか。

(月・週・日) (円) → (1ヶ月およそ) (円)

~~問12 同じアパートで同居したり一緒に生活・移動をしている人はいますか。~~

- | |
|-----------------------------|
| 1. 一人で生活 |
| 2. 友人・知り合いと生活 |
| 3. 配偶者(内縁を含む)と生活 |
| 4. 子どもと生活 |
| 5. その他の親族と生活 |
| 6. その他 [] |

~~問13 路上（野宿）生活で、とても困ったり、幸かたたりするのはどのようなことですか。あてはまるものをいくつでも選んでください。~~

- ~~1. 食べ物が十分がないので辛い~~
- ~~2. 寝る場所を探すのにとても苦労している~~
- ~~3. 寒さをしのげず辛い~~
- ~~4. 入浴、洗濯などができなくて、清潔に保つことができず困る~~
- ~~5. その他 []~~

○阿部委員：削除されているが、是非、加えて欲しい。施設利用希望を決定する要因を明らかにするには、今、何が困っているかを知ることが重要な手がかりになると思われる。

○古屋委員：設問内容を変更し、復活してほしい。

「路上（野宿）生活で一番困っていることは何ですか。一つだけ選んでください。」

1. 食べ物の調達
2. 寝る場所の確保
3. 寒さ
4. 入浴、洗濯
5. その他（ ）

Ⅱ 路上（野宿）生活までのいきさつ

路上（野宿）生活をするようになったいきさつについて、お聞きします。

問1410 路上（野宿）生活をするすぐ前にやっていた仕事は何ですか。

仕事は何ですか（具体的に： _____）

01. 専門的・技術的職業従事者（建築士、測量士、教師、公認会計士、プログラマーなど）
02. 管理的職業従事者（会社・団体役員、工場長、支店長、管理職など）
03. 事務従事者（一般事務、経理事務など）
04. 販売従事者（小売、卸売店主、店員、勧誘員、外交員、営業など）
05. サービス従事者（理美容師、調理人、クリーニング工、ホテル従業員、バーテンダー、アパート管理人など）
06. 保安職業従事者（警察、自衛官、看守、消防員、警備員など）
07. 農林漁業作業者（農業、漁業など）
08. 運輸、通信従事者（運転手、機関士、郵便配達員、電話交換手など）
09. 採掘作業者（炭鉱夫など）
10. 生産工程・製造作業者（プレス工、機械組立工、食品製造工、洋服仕立工など）
11. 印刷・製本作業者（写植オペレータ、印刷工など）
12. 建設技能従事者（大工、とび、左官、畳職、配管工、電気工、クレーン運転工など）
13. 建設作業従事者（土木工、現場片づけなど）
14. 労務・運搬作業従事者（倉庫作業、荷役作業、新聞配達、宅配便運転手など）
15. 清掃作業・廃品回収（ビル清掃、工場清掃、廃品回収など）
16. その他 [_____]
17. 職業なし

○山口委員：問の追加

「その時の雇用形態は、正規職員でしたか、非正規職員でしたか。」

1. 正規職員
2. 非正規職員

（理由）社会保険料負担に耐えられる立場か否かを、まずはじめに聞くべき。

問1511 その時の立場はなんでしたか。

1. 経営者・会社役員
2. 自営・家族従業者
3. 常勤職員・従業員（正社員）
4. 臨時・パート・アルバイト
5. 日雇
6. その他 [_____]
99. 非該当

問1612 これまで一番長くやっていた仕事はなんですか。(主な仕事)

仕事は何ですか(具体的に:)

01. 専門的・技術的職業従事者(建築士、測量士、教師、公認会計士、プログラマーなど)
02. 管理的職業従事者(会社・団体役員、工場長、支店長、管理職など)
03. 事務従事者(一般事務、経理事務など)
04. 販売従事者(小売、卸売店主、店員、勧誘員、外交員、営業など)
05. サービス従事者(理美容師、調理人、クリーニング工、ホテル従業員、バーテンダー、アパート管理人など)
06. 保安職業従事者(警察、自衛官、看守、消防員、警備員など)
07. 農林漁業作業者(農業、漁業など)
08. 運輸、通信従事者(運転手、機関士、郵便配達員、電話交換手など)
09. 採掘作業者(炭鉱夫など)
10. 生産工程・製造作業者(プレス工、機械組立工、食品製造工、洋服仕立工など)
11. 印刷・製本作業者(写植オペレータ、印刷工など)
12. 建設技能従事者(大工、とび、左官、畳職、配管工、電気工、クレーン運転工など)
13. 建設作業従事者(土木工、現場片づけなど)
14. 労務・運搬作業従事者(倉庫作業、荷役作業、新聞配達、宅配便運転手など)
15. 清掃作業・廃品回収(ビル清掃、工場清掃、廃品回収など)
16. その他 []
17. 職業なし

問1713 その仕事をしているときは、どのような立場で働いていましたか。

1. 経営者・会社役員
2. 自営・家族従業者
3. 常勤職員・従業員(正社員)
4. 臨時・パート・アルバイト
5. 日雇
6. その他 []
99. 非該当

○古屋委員：問の追加

「その際に(これまで一番長くやっていた仕事に就いていた時に)住んでいた地域はどこですか。」

1. 現在路上(野宿)生活をしている都道府県内の同じ市区町村
2. 現在路上(野宿)生活をして いる都道府県内の別の市区町村
(具体的に:)
3. 現在路上(野宿)生活をしている都道府県外の市区町村
(具体的に:)

(理由)

- ・ 出身地よりも最長職の居住地がその人の生活の本拠に近いと考えられる。
- ・ また、野宿生活に至る前に(大)都市に移動し、その後、失業や経済状況の

悪化等によりホームレスとなるパターンが多いと推測されるが、当設問を追加することによって、そうした生活歴や流入の実態が明らかになると考えられる。

問14 今回の路上（野宿）生活をするようになった主な理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んで下さい。

- | |
|--|
| 01. 倒産や失業 |
| 02. 仕事が減った |
| 03. 病気・けがや高齢で仕事ができなくなった |
| 04. 01, 02, 03以外の理由で収入が減った |
| 05. ローンが払えなくなった 借金取立により家を出た ← |
| 06. 家賃が払えなくなった |
| 07. ホテル代、ドヤ代が払えなくなった |
| 06. 家賃、ホテル代、ドヤ代が払えなくなった ← |
| 08. 建て替え等による住宅の追い立てにあった |
| 09. 借金取立により家を出た |
| 107. 差し押さえによって立ち退きさせられた |
| 108. 病院や施設などから出た後行き先がなかった |
| 209. 家庭内のいざこざ |
| 13. 飲酒、ギャンブル |
| 410. その他 [] |
| 511. 理由なし |

○阿部委員：前回、一番回答数が多かった「倒産・失業」「仕事が減った」をもう少し詳しく分類して欲しい。前回の選択肢は、収入減の理由と、住む場所がなくなった理由が混合している。この二つを別々に整理できないか。

○山田委員：選択肢の修正、追加
「13 飲酒、ギャンブル」の復活
「労働環境が劣悪なため」の追加

○古屋委員：選択肢の修正、追加
「労働条件が悪くなり、いやになって仕事をやめた」
(理由) 単なる失業などによってホームレスになる人も多いが、むしろ、労働条件の悪化等によって仕事に嫌気がさし、あきらめの念も生じて、野宿生活に至るケースが多く見られる。
「家賃が払えなくなった」「ホテル代、ドヤ代が払えなくなった」
(理由) 家賃が払えなくなったケースとホテル代・ドヤ代が払えなくなったケースは大きな差異があると思われる。
「飲酒」「ギャンブル」
(理由) 前回の調査において、飲酒・ギャンブルにより野宿生活に至るケースは比較的少ない(5.8%)とされているが、自立阻害要因としては大きな要因と考えられるので、それぞれ独立させて選択肢に含めるほうが望ましいと考えられる。

○山口委員：選択肢の追加
「自分の借金でなく、他人の保証人となって借金取立により家を出た」
(理由) 保証人の項目を入れるべき。

問15 今回の路上（野宿）生活をする前に、住んでいたのはどこですか。1つ選んでください。（路上（野宿）生活中に一時的に泊まったところは除く。路上（野宿）生活が多くなる前の住居）

- | |
|---------------------------------------|
| 01. 持家（一戸建て、マンションなど） |
| 02. 民間賃貸住宅（アパート・マンション） |
| 03. 公共賃貸住宅（都市機構賃貸住宅（旧公団賃貸住宅）、公営住宅等） |
| 04. 勤め先の社宅や寮 |
| 05. 親族・知人宅 |
| 06. 住込み先 |
| 07. 飯場・作業員宿舎（飯場など現場に仮設された宿舎） |
| 08. 簡易宿泊所（ドヤ） |
| 09. ビジネスホテル・カプセルホテル・サウナ・24時間営業の飲食店映画館 |
| 10. 病院 |
| 11. 更生施設等の福祉施設 |
| 12. その他 [] |

○岩田座長：選択肢の追加
「自立支援センターやシェルター」

○山口委員：ア 選択肢の補足
「ビジネスホテル・カプセルホテル・サウナ・24時間営業の飲食店(マンガ喫茶を含む。)」
(理由) 例示を分かりやすく。
イ 選択肢の追加
「路上生活者対策施設(緊急・自立支援センター)」
(理由) 福祉施策の路上生活者対策施設を明記すべき。

~~問20 その時の家賃や住宅ローンなどの住居負担は月いくらでしたか。~~

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 1. 3万円未満 | 2. 3万円以上5万円未満 |
| 3. 5万円以上10万円未満 | 4. 10万円以上 |
| 5. 住宅費の負担はなかった | |

問216 今回の路上（野宿）生活をする前にその時に住んでいた地域はどちらですか。

- | | |
|--------------------------------|----------|
| 1. 現在路上（野宿）生活をしている都道府県内の同じ市区町村 | |
| 2. 現在路上（野宿）生活をしている都道府県内の別の市区町村 | |
| | ↓ |
| | (具体的に：) |
| 23. 現在路上（野宿）生活をしている都道府県外の市区町村 | |
| | ↓ |
| | (具体的に：) |

○山口委員：問の追加

問16で2又は3と答えた方について、

「旅費（宿泊費、交通費）等は公費で負担してもらいましたか。」

1. はい
2. いいえ

(理由)「片道切符」の状況を聞く。

問17 現在路上生活をしているこの市区町村に来た主な理由は何ですか。あてはまるものを1つ選んでください。

1. 以前住んでおり土地になじみがある
2. アルミ缶、ダンボール、粗大ゴミ、雑誌等を集めやすく仕事に便利
3. 近くに寄せ場がある、手配師が多い等により仕事に便利
4. ホームレスが多い
5. ボランティア団体等による炊き出しがある
6. ホームレスのための施策が充実している（施設、住宅、パン券・ドヤ券、その他）
7. その他 []

○岩田座長：選択肢の修正

1. (以前住んでおり) 土地になじみがある
なじみがあるでよいのでは？ あるいは以前住んでいたり仕事先があったりで、なじみがある。
2. アルミ缶、ダンボール、粗大ゴミ、雑誌集めなどの仕事があるから。
3. 近くに日雇いの寄せ場があったり仕事の声をかけられるから (手配師が多い等により仕事に便利)

○大橋委員：選択肢の追加

以前の知り合いがだれもいなさそうである。

○山田委員：選択肢の修正

6. ホームレスのための施策が充実している（施設、住宅、パン券・ドヤ券、就労対策、その他）

○古屋委員：選択肢の修正

「1. (以前住んでおり) 土地になじみがある」を2つに分割する。

「以前、仕事や通学の関係で土地になじみがある」

「野宿生活直前まで住んでおり、土地になじみがある」

選択肢の追加

「他人から「あそこに行けばなんとかなる」と言われたので」

問2218 これまでに東京・山谷、横浜・寿町、大阪・釜ヶ崎、名古屋・笹島などで、仕事をしたり仕事を探したことがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

1. 山谷（東京）
2. 寿町
3. 釜ヶ崎
4. 笹島
5. それ以外の山谷、寿町、釜ヶ崎、笹島のような
場所(寄せ場)で仕事に就いたり、探したことがある。
6. なし

Ⅲ ~~健康状態と福祉制度~~

あなたの~~健康状態と福祉制度の利用~~についてお聞きします。

問~~23~~19 現在、どこか体の具合の悪いところがありますか。

1. はい	→	どのような対処をしていますか。
2. いいえ		

1. 通院
2. 売薬
3. 何もしていない

○古屋委員：選択肢の修正

「2. 売薬」→「2. 市販薬」

(理由) ボランティア等から薬をもらうケースが多く見られるので、より分かりやすくするために

問~~24~~20 現在、次のような持病や~~障害~~がありますか。あてはまるものをいくつでも選んでください。

01. 高血圧	02. 胃・十二指腸潰瘍
03. 糖尿病	04. 肝炎
05. ヘルニア	06. 皮膚の病気
07. アルコール依存症	08. 結核
09. 身体障害	09. その他[]
10. 病気はない	11. 病気かどうかわからない

○古屋委員：選択肢の修正、追加

「05. ヘルニア（腰痛等）」に修正

「虫歯、歯の喪失」を追加

○山口委員：選択肢の追加

「歯痛」「体の節々が痛む」

(理由) 歯の管理が疎かである路上生活者は多いため。

○古屋委員・山口委員：問の追加

路上生活をしてから入院したことはありますか

- 0 1. ある（疾病名： ）
0 2. ない

IV 福祉制度

あなたの福祉制度の利用状況についてお聞きします。

問23 巡回している相談員に会ったことはありますか。

1. ある
2. ない → (問24へお進みください。)

→ 問23-1 問23で「1. ある」と答えた方について、どのくらいの頻度で巡回してきますか。

1. 週に1回程度
2. 月に2～3回程度
3. 月に1回程度
4. 半年に2～3回程度
5. 半年に1回程度
6. 1年に1回程度

→ 問23-2 問23で「1. ある」と答えた方について、相談員に相談したことはありますか。

1. ある
2. ない

○古屋委員：問23と問23-2を統合

1. 会ったことがあり、相談した
2. 会ったことはあるが、相談したことはない
3. 会ったことはない

○森田委員：野宿期間中に巡回相談（員）を通じて、何らかの具体的な「支援措置」を受けたことがあるかどうか、どのような支援措置を受けたのかの質問も欲しい。

支援措置の具体的な内容としては「入院」「通院」「救急」「ケアセンター入所」「福祉施設入所」「シェルター入所」「自立支援センター入所」「居宅保護」等々。

支援措置を何度も繰り返している野宿者が相当数いるようであり、この人々にとっては巡回相談は、野宿生活を続けていくための資源となっている。巡回相談には、こうした「野宿現場での生活維持のための支援」としての巡回相談と「脱野宿のための支援」としての巡回相談との2側面があるが、両側面の関係のありかたを探るためにも、もう少し掘り下げて、支援の内容についての設問も必要ではなかろうか。

問24 緊急的な一時宿泊場所としてシェルターがありますが、~~今後利用したい~~
~~と思いますか~~この施設の内容を知っていますか。

1. ~~思う~~ 知っている
2. ~~思わない~~ 知らない → (問25へお進みください)

→ 問24-1 問24で「1. 知っている」と答えた方について、シェルターを利用したことはありますか。

1. ある
2. ない

○古屋委員：問24と問24-1を統合

1. 知っており、利用したことがある
2. 知っているが、利用したことはない
3. 知らない

問25 一定期間入所して、食事、健康管理、生活相談や職業相談を受け、就労による自立をするための施設~~(自立支援センター)~~がありますが、~~今後利用~~
~~したいと思いませんか~~この自立支援センターの内容を知っていますか。

1. ~~思う~~ 知っている
2. ~~思わない~~ 知らない → (問26へお進みください)

→ 問25-1 問25で「1. 知っている」と答えた方について、自立支援センターを利用したことはありますか。

1. ある
2. ない → (問26へお進みください。)

○古屋委員：問25と問25-1を統合

1. 知っており、利用したことがある
2. 知っているが、利用したことはない
3. 知らない

○山口委員：問を追加

「問25-1において、「ない」と答えた方について、自立支援センターを利用しない理由は何ですか。(具体的に)」

(理由) 問26の生活保護についての問の前に、路上生活者対策施設について聴くべき

→ 問25-2 問25-1で「ある」と答えた方について、退所理由は何ですか。

1. 就職により退所（問25-4へ）
2. 生活保護の適用による入院、施設入所及びアパート等居宅の確保により退所
3. 期限到来により退所
4. 期限到来前に規則違反、無断退所等により退所
5. その他

○古屋委員：選択肢の修正

5. その他（理由： ）

○森田委員：退所理由のなかで期限到来前の「自主退所」者は「その他」でカバーしてしまうのか、別途選択肢を立てるのかについて検討の要あり。

また、就職、生保にしても再び野宿生活に戻ってきており、自主退所、無断退所、期限到来退所を含めて、センター入所経験者によるセンター機能の評価については、設問を設け、検討する必要があるのではなかろうか。

→ 問25-3 問25-1で「ある」と答えた方について、退所から路上生活に戻るまでの期間はどのくらいでしたか。

1. 1ヶ月未満
2. 1ヶ月以上3ヶ月未満
3. 3ヶ月以上6ヶ月未満
4. 6ヶ月以上1年未満
5. 1年以上3年未満
6. 3年以上4年未満
7. 4年以上

○山口委員：問の追加

「問25-1で「ある」と答えた方について、そこでの入所期間はどれくらいの期間でしたか。」

- (答) 「1. 1ヶ月未満」 「2. 2ヶ月未満」 「3. 3ヶ月未満」
「4. 4ヶ月未満」 「5. 5ヶ月未満」 「6. 6ヶ月未満」
「7. 6ヶ月以上1年未満」

(理由) 緊急(2ヶ月)・自立支援センター(4ヶ月)併せて最大6ヶ月(23区内)

問25-4 問25-2で「1. 就職により退所」と答えた方について、路上生活に戻った主な理由は何ですか。 ←

1. 病気、けが、高齢等の理由で仕事を解雇された
2. 仕事の契約期間が満了したが、次の仕事が見つからなかった
3. 仕事になじめず、自ら仕事を辞めた
4. 周囲とのトラブル等により居宅を出ざるをえなくなり、仕事を辞めた
5. その他

○古屋委員：選択肢の修正

5. その他（理由： ）

○山口委員：選択肢の修正

5. その他（具体的に： ）

○安江委員：選択肢の修正

1. 病気、けが、高齢その他等の理由で仕事を解雇された

(理由)「等」だとわかりにくい。元ホームレスだとわかったから、という理由も実際にある。

○森田委員：「就職による退所」者が、再び路上に戻るようになった原因として、その「就職」による「自立」の中味、つまり就職の実態（職種、賃金、雇用形態、労働条件等々について）が影響しているのかどうかについて調べておく必要があるのではないか。「就職による退所」者の多くが、不安定・劣悪な仕事について、このことが再び路上に戻るようになった原因である場合も考えられるので、回答選択肢の「3. 仕事になじめず……」を、もう少し詳細に砕いてはどうか。

○岩田座長：問の追加

「その他のホームレスに対する支援を利用したことがありますか。」

ある（住宅の斡旋や宿泊事業、健康診断、食糧支給、衣類の支給、その他）
ない

問の追加

住宅の斡旋や宿泊事業の経験者へ そこを出た理由

○阿部委員：「問24 シェルターについて」と「問25 自立支援センター」の質問は、今回の調査で最も重要な項目である。施設を利用したことがあるか、なければ、したいか、したくなければ、その理由は何か、あれば、どう思ったか、どうして路上生活に戻ったのか、を明らかにする必要があるのではないか。具体的には：

問A （全員）○○（シェルター、センター）の内容を知っていますか？
知っている→問Bへ 知らない→問Cへ

問B ○○を利用したことがありますか
ある →問Eへ ない →問Cへ

（シェルターの場合は、定期的に利用している、時々利用している、などの選択肢を設ける。センターの場合は、基本的に1回きりと理解してよいか？）

問C （○○を今後利用したいと思いますか
したい したくない →問Dへ

問D ○○を利用したくない理由は何ですか。

[前回の調査の問28-2の選択肢]

問E ○○を利用して、どう感じましたか

[この選択肢は、シェルターとセンターで、別々に設定。選択肢は、吟味する必要がある]

【シェルター】

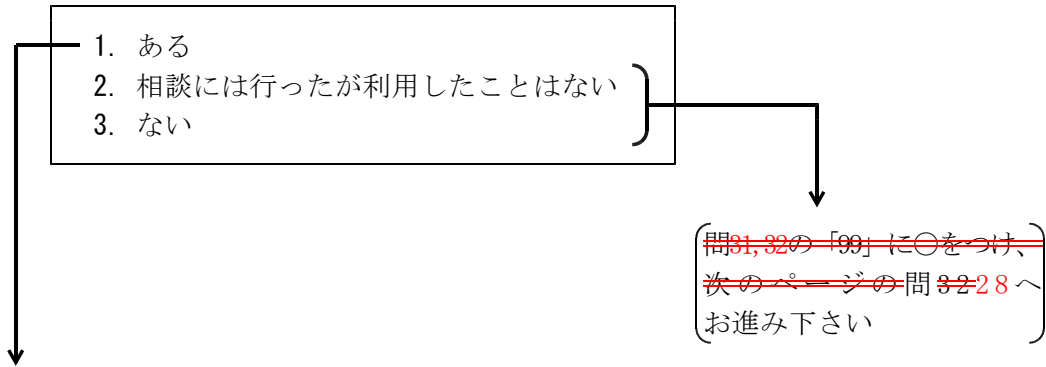
- ・ 役に立った、たっている
- ・ 利用したことはあるが、今は利用していない [その理由：]
- ・ 寝場所がなくなり、仕方なく利用した
- ・ その他

【センター】

今回の案の問25-2, 25-3, 25-4。ただし、問25-2の選択肢1と2の両方が問25-4にいくようにする（生活保護から路上に戻った理由も聞く）。その後、→問F

問F もう1回、自立支援センターに入りたいですか
入りたい 入りたくない

問~~30~~26 これまで生活保護制度を利用したことがありますか



問~~31~~27 問~~30~~26で「ある」と答えた方の利用の方法は次のどれでしたか。あてはまるものをすべて選んで下さい。

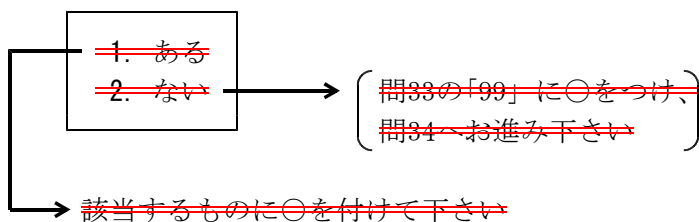
1. 病院に入院して生活保護を受けた
2. 施設に入所して生活保護を受けた
3. アパートやドヤ等で生活保護を受けた
4. その他 []
- ~~99. 非該当~~

○安江委員：選択肢の修正

2. 施設やドヤ等に入所して生活保護を受けた
3. アパートやドヤ等で生活保護を受けた

○阿部委員「問 26 これまで生活保護制度を利用したことがありますか」では、「ある」とした場合に、その時期、期間も聞く。また、前回と同じように、「ある」とした場合は、その結果、「ない」とした場合は、「今後相談にいく意志はあるか」を聞く。

~~問32 路上（野宿）生活をしてからこれまでに、何らかの支援を受けたことがありますか。~~



- ~~1. 炊き出し~~
- ~~2. 衣類や毛布の配布~~
- ~~3. 福祉や医療相談~~
- ~~4. カップ麺や乾パン、パン券などもらった~~
- ~~5. 臨時施設（宿泊券もらった）~~
- ~~6. その他 []~~

○山田委員：問の復活

社会資源の中で民間をどれだけ利用しているのか把握しておく必要があると思います。

併せて「5. 臨時施設（宿泊券もらった）」を「5. 臨時施策施設（宿泊券

をもらった、就労対策)」に修正されたい。

~~問33~~ ~~その支援は何らかの役に立ったと思いますか。~~

- ~~1. 役に立ったと思う~~
- ~~2. 役に立たなかったと思う~~
- ~~3. わからない~~
- ~~99. 非該当~~

ⅣⅤ 自立について

問3428 今後、どのような生活を望んでいますか。

1. きちんと就職して働きたい
2. アルミ缶、雑誌集めなどの都市雑業的な仕事で、生活できるくらいの収入が得られればよい
3. 行政からの何らかの支援を受けながら、軽い仕事をしたい
4. 就職することはできないので何らかの福祉制度を利用して生活したい
5. 入院したい
6. 今のままでいい（路上（野宿）生活）
7. わからない
8. その他 []

○山田委員：選択肢を整理する必要があるのではないのでしょうか。

（住居の軸）と（生活の軸）の 2 つの軸を設定して考えてみてはどうでしょうか。

（生活の軸）とは、就労（「正規の就労」、「都市雑業的な就労」、「半福祉半就労」、

福祉（「居宅保護」「施設保護」「入院」）、「今のままでいい」

（住居の軸）は後ほど「住居」ニーズで把握するため質問を新たにつくる必要があるのではないのでしょうか。

○古屋委員：選択肢の修正

「3. ~~行政からの何らかの支援を受けながら、軽い仕事をしたい~~しかできないので、行政から何らかの支援を受けたい

（理由）選択肢をより理解しやすくなると考えられる

○古屋委員：問の追加

（問28で「6. 今のままでいい（路上（野宿）生活）」を選んだ人に）

「なぜ、そう思うのですか」

01 就職する自信がないので、今の生活を続けなければならない

02 それ以外の理由で、今の生活を続けなければならない

（その理由： ）

03 今の生活があっているので、体が動く間は今の生活を続けたい

04 誰にも迷惑をかけていない

05 その他

（理由）野宿生活が長期に亘る層を中心に、野宿生活から脱却しようとしないう人が相対的に増えているように思われるので、その理由を明らかにしたい

○山口委員：選択肢の修正

「1. ~~きちんと就職して~~常用雇用（正規雇用）の職について働きたい。」

問~~35~~29 現在、就職するための求職活動をしていますか。

1. 求職活動をしている
2. 求職活動はしていないし、今後も求職活動する予定はない
3. 今は求職活動をしていないが、今後求職活動をする予定である

○安江委員：問の修正

現在、就職・転職するための求職活動をしていますか。

~~(問36の「99」に○をつけ、問37へお進み下さい)~~

問~~36~~30 なぜ仕事を探していないのですか。

1. 今の仕事で満足しているから
 2. 疾病、障害、病弱、高齢で働けないから
 3. 自分の希望する職業を探してもないと思うから
 4. 就職の際の身元保証人や住民票がないと難しいと思うから
 5. 住居がないと採用されないと思うから
 6. その他 []
- ~~99. 非該当~~

~~(この問に答えた方は、全員、問37及び問38の「99」に○をつけ、次のページの問~~39~~33へお進み下さい。)~~

○山田委員：ア 問の修正

「なぜ仕事を探することができないのですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。」

イ 選択肢の追加

「資格等もなく自信がないため」

問~~37~~31 仕事はどのようにして探していますか。あてはまるものをいくつでも選んでください。

1. 一般の職安
 2. 労働安定所
 3. 求人雑誌・新聞
 4. 知人・友人などからの情報
 5. 直接雇用主に応募
 6. その他 []
- ~~99. 非該当~~

○山田委員：選択肢の追加

「山谷や釜ヶ崎などの寄り場」「民間支援団体」

○古屋委員：選択肢の追加

「ホームレス就業支援センター」「山谷（東京）や釜ヶ崎のいわゆる「寄り場」」

○山口委員：選択肢の追加

「6. ホームレス就業支援事業推進協議会」

「7. 無料職業紹介権をもつNPO団体」

「8. 手配師」

「9. その他」

(理由) 国事業を知っているか、活用しているか。

(質問) 「2. 労働安定所」とは何か？

問332 どのような職業を希望していますか。

職業名 (具体的に)

01. 技能工・採掘・製造・建設作業員及び労務作業員
02. 運輸・通信従事者
03. 農林漁業従事者
04. 保安職業従事者
05. 専門的・技術的従事者
06. 管理的職業従事者
07. 事務従事者
08. 販売従事者
09. サービス業従事者
10. 廃品回収業従事者
11. その他 []
- ~~99. 非該当~~

○古屋委員：選択肢及び例示の追加

- 0 1 生産工程・製造作業員 (プレス工、機械組立工など)
- 0 2 建設技能従事者 (大工、とび、左官など)
- 0 3 建設作業員 (土木工、現場片づけなど)
- 0 4 労務・運搬作業員 (倉庫作業、荷役作業など)
- 0 5 運輸・通信従事者 (運転手など)
- 0 6 農林漁業従事者
- 0 7 保安職業従事者 (警備員など)
- 0 8 専門的・技術的従事者
- 0 9 管理的職業従事者
- 1 0 事務従事者
- 1 1 販売従事者 (店員、営業職など)
- 1 2 サービス業従事者 (調理員など)
- 1 3 清掃作業・廃品回収 (ビル清掃、廃品回収など)
- 1 4 その他

(理由) 選択肢の01の範囲をより限定した方が、実態をより正確に反映すると思われる。

○山口委員：選択肢の追加

「1 1. 清掃従事者」

「1 2. 警備従事者」

「1 3. その他」

(理由) 求人が多い仕事についての関心を聴く。

問3933 就職するためにあなたが望む支援は何ですか。あてはまるものをいくつでも選んでください。

1. もっと身近に就職の相談や求人情報をみられるようにしてほしい
2. 職業訓練、職業講習を受けられるようにしてほしい
3. 自分たちにあった仕事を開拓して欲しい
4. 事業主のホームレスに対する理解を進めて欲しい
5. ~~就職の際の身元保証や住民票の設定を~~の援助をして欲しい
6. その他 []

○山田委員：選択肢の追加

「アパートを確保してほしい」

○古屋委員：選択肢の追加

「住居について支援してほしい」

(理由) 住居がないことが就職の阻害要因となっているケースが多いと考えられる

○安江委員：選択肢の追加

「アパートに入れてもらいたい」

○山口委員：選択肢の追加

「6. 住居を確保して欲しい」

「7. 漢字や算数などの基礎学力を学べるようにしてほしい」

「8. その他」

(理由) 会社で住まい（連絡先）を聞かれることがあるため。就職に必要な基礎学力が欠如しているケースがあるため。

問4034 今までにどのような技能、免許・資格を取得されていますか。具体的に教えてください。また、過去持っていたが、期限が切れてしまっているものには◎をつけてください。

1. 自動車運転免許
2. 建設関係免許
3. 工場関係免許
4. 調理免許
5. 理美容免許
6. その他

○古屋委員：選択肢の追加

「ビルメンテナンス関係」

「福祉関係」

○山口委員：選択肢の修正、追加

「1. 自動車運転免許（1種・2種・大型）」

「6. ホームヘルパー」

「7. その他」

(理由) 国事業の技能講習科目の受講状況を知るため。

問34-1 問34で、技能、免許、資格を持っていると答えた方について、それは行政が行っている技能、免許、資格に係る講習によるものですか。

- | | | |
|------|-------|---------|
| 1 はい | 2 いいえ | 3 わからない |
|------|-------|---------|

問35 今後、取得したい免許・資格等があれば、教えてください。

- | |
|------------|
| 1. 自動車運転免許 |
| 2. 建設関係免許 |
| 3. 工場関係免許 |
| 4. 調理免許 |
| 5. 理美容免許 |
| 6. その他 |

○古屋委員：選択肢の追加

「ビルメンテナンス関係」

「福祉関係」

問36 路上生活を始めてから、民間賃貸住宅を探した経験のある場合、どこで探しましたか。あてはまるものをいくつでも選んでください。

- | |
|-------------|
| 1. 自立支援センター |
| 2. 地方公共団体 |
| 3. 不動産店 |

○岩田座長：選択肢の修正

1. 自立支援センターの住宅相談や斡旋
2. 地方公共団体の住宅相談や斡旋
3. 不動産店に自分で行った
4. 支援団体の紹介
5. 友人の紹介

○古屋委員：選択肢の追加、修正

1. 自立支援センター
2. 巡回相談員
3. 地方公共団体
4. 不動産店紹介業者
5. 友人・知人

○安江委員：選択肢の修正

2. 福祉事務所や地方公共団体

問36-1 問36で「3. 不動産店」と答えた方について、路上生活をしていたことについて不動産店に伝えましたか。

- | |
|-----------|
| 1. 伝えた |
| 2. 伝えなかった |

問37 問36で1～3の何れかを答えた方について、低廉な家賃の民間賃貸住宅に関する情報が得られましたか。

1. 得られた
2. 得られなかった

○岩田座長：問と選択肢の修正

問37 問36で1～3の何れかを答えた方について、あなたが払えそうな安い低廉な家賃の民間賃貸住宅を見つけられましたかに関する情報が得られましたか。

1. 見つかった得られた
2. 見つからなかった得られなかった

○岩田座長：問の追加

問家賃以外で、借りにくい問題がありましたか いくつでも○

1. 保証人を求められた。
2. 敷金礼金をもとめられた。
3. 住民票の提示を求められた。
4. その他（ ）

問38 問36で1～3の何れかを答えた方について、民間の家賃債務保証会社に関する情報が得られましたか。

1. 得られた
2. 得られなかった

○岩田座長：難しい質問なので表現をわかりやすくしてほしい。

○山田委員：「住居」ニーズに対する質問項目を追加して下さい。

ア 「今後どういう住居で生活したいと思いますか。」

1. 民間賃貸住宅
2. 公共賃貸住宅
3. 施設
4. 病院
5. 今のまま（野宿）
6. その他

イ 「誰と住みたいと思いますか。」

1. ひとり
2. 配偶者・内縁関係の人
3. 兄弟
4. 動物（犬・猫）
5. その他

ウ 「野宿してから部屋をさがしたことがありますか。」

1. ある
2. ない

エ 「部屋を探したことがある方におうかがいします。
部屋をかりることはできましたか。」

1. 部屋をかりた
2. 部屋をかりれなかった

オ 「部屋をかりた方におうかがいします。どうやって部屋を探しましたか。」

1. 自立支援センター、巡回相談員
2. 支援団体
3. 友人・知人
4. 直接自分で
5. その他

カ 「部屋を借りれなかった方におうかがいします。
なぜ部屋を借りれなかったのですか。」

1. 保証人がいない
2. 条件にあう物件（敷金なし、家賃がやすい）がなかった
3. 野宿していることが知られたから
4. その他

○山口委員：問の追加

問38-1 「民間賃貸住宅を探すために、あなたが望む対策は何ですか。」

- 1 物件の情報
- 2 保証人又は家賃債務保証
- 3 礼金・敷金等の金銭的支援

~~V~~ VI 生活歴

あなたご自身の~~以前~~生活についてお聞きします。

問~~41~~39 出身地はどこですか。

1. 現在路上（野宿）生活をしている都道府県内
2. 路上（野宿）生活をしている都道府県外

↳（具体的に： ）

問~~42~~40 結婚（内縁を含む）はしましたか。

1. ~~も~~結婚している
2. ~~も~~~~て~~~~い~~~~な~~~~い~~離婚・死別
3. 未婚

○大橋委員：問の追加（問40の後で、次の質問があった方が、問41の意味がより解釈しやすくなるのではないのでしょうか。）

「親や兄弟などの身内はいますか。」

答 父親、母親、兄、妹などの複数回答。

問~~43~~41 この一年間で家族・親族と連絡がありますか。

1. ある
2. ない

問42 年金をかけていたことがありますか。

1. ある
2. ない
3. わからない

○阿部委員：年金の種類、その期間を聞いて欲しい。ホームレスの中には、年金を受給出来る日を待っている人もいるので、年金との関係を聞くことは重要。

- ・職場での厚生年金（期間： 年間 または 歳から 歳まで）
- ・国民年金（期間： 年間 または 歳から 歳まで）
- ・白手帳（もっていた、もっていたことがない）
- ・わからない

○森田委員：年金の受給資格の有無もしくは資格確認などの手続きの支援へのニーズを聞いておく必要はないのかについて一考の余地あり。

~~あなたご自身の現在の生活についてお聞きします。~~

~~問44 住民票はありますか。~~

- ~~1. ある~~
- ~~2. ない~~
- ~~3. わからない~~

問43 金融機関や消費者金融などに借金はありますか。

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問43-1 問43で「ある」と答えた方について、それはいくらぐらいですか。

- | | | |
|----------------|----------------|------------|
| 1. 100万円以下 | 2. 100～300万円以下 | |
| 3. 300～500万円以下 | 4. 500万円以上 | 5. 額はわからない |

○岩田座長：問の追加

「最後に出た学校は次のどれですか。」

○山口委員：問の追加

問35-1 「最終学歴は何ですか。」

- 1 中学校卒
- 2 高校卒
- 3 高校中退
- 4 短大・専門学校卒
- 5 短大・専門学校中退
- 6 大卒
- 7 大卒中退

○安江委員：問の修正

「ボランティア団体」を削除する。

(理由) 政府の調査なのだからボランティア団体への要望など尋ねるのはおかしい。